



# 昭島消防防災NEWS

## 令和3年12月号

昭島消防署  
防災安全係  
昭島防火防災協会  
防災指導部  
発行

### 年末年始の救急事故をなくそう！

冬は救急出場が増加し、月別の救急出場件数をみると、1月の出場件数が最も多いです。要因は、インフルエンザ等の感染症の流行、積雪や路面凍結による転倒、餅を喉につまらせたことによる窒息事故があります。

東京消防庁管内で、過去5年間で餅などをのどに詰まらせて救急搬送された方は453人です。

年末年始には、餅などを食べる機会が増えるので、注意が必要です。



### 餅による事故を防ぐポイント

- ① 餅は小さく切って、食べやすい大きさに。
- ② 急いで飲み込まず、ゆっくりと噛んでから飲み込む。
- ③ 乳幼児や高齢者と一緒に食事をする際は、食事の様子を見守るなど注意を払う。
- ④ 餅を食べる前に、お茶や汁物を飲んで喉を潤しておく。
- ⑤ いざという時に備え、応急手当の方法を理解しておく。

### 《窒息の応急手当》

チョークサインをしている時、声を出せない時、顔色が急に真っ青になった時は、食べ物により気道が塞がれていることが疑われます。そのときは直ちに119番と気道異物除去（背部叩打法）を始めます。



チョークサイン  
窒息を起こし、呼吸ができなくなったことを他の人に知らせる世界共通のサイン。



動画はこちら  
からご覧いただけ  
ます。

窒息の応急手当て  
どうやるの？



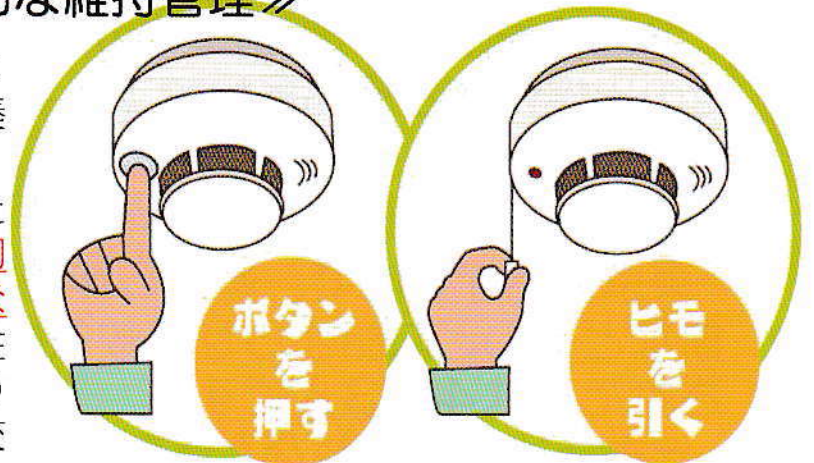
(YouTube東京消防庁公式チャンネル)

# 大掃除の機会に室内の安全対策をしよう！

年末に自宅の大掃除をする方が多いと思います。普段は動かさない家具・家電を動かす大掃除の機会に、自宅の安全対策を実施しましょう。

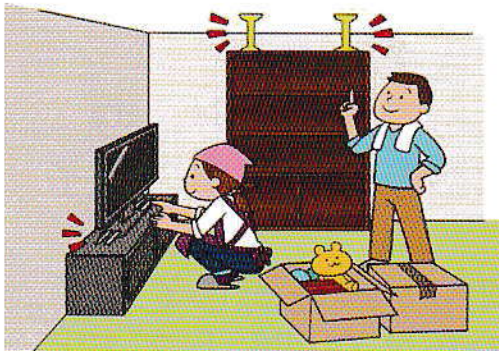
## 《住宅用火災警報器の適切な維持管理》

令和2年中、住警器の作動により火災の被害軽減につながった奏功事例は224件ありました。しかし、設置後10年を経過した住警器は電子部品の劣化や電池切れなどにより火災を感知しなくなる恐れがあります。この機会に住警器の点検を行い、設置から10年を経過している場合は本体を交換しましょう。



住警器の点検要領

## 《家具類の転倒・落下・移動防止対策》



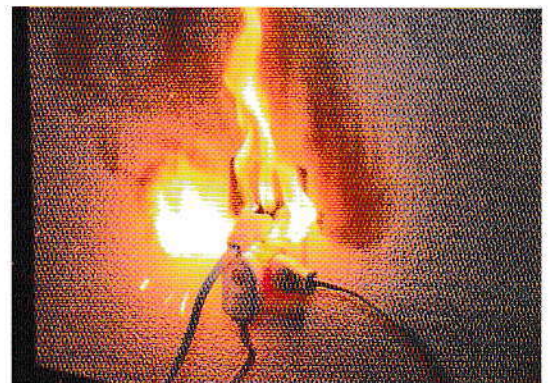
家具類の転倒・落下・移動防止対策（以下「家具転対策」という。）とは、地震の揺れで倒れるなどした家具や家電によるケガ等を防ぐために、家具類を固定したり、落下防止をしたりする対策です。

地震から大切な命を守るため、この機会に家具転対策を実施しましょう。

## 《トラッキング火災の防止》

令和2年中、東京消防庁管内では、トラッキング現象による火災が21件発生しています。

トラッキング現象による火災は、長期間コンセントに差込まれているプラグ部分に埃や湿気が溜まることで発生し、発見が遅れると思わぬ被害に繋がる場合があります。大掃除の機会にコンセントやプラグ周りなどを確認してみましょう。



トラッキング火災（再現実験）

防災訓練等のご要望がありましたら、昭島消防署・地域防災担当までお問い合わせください。 TEL 042 (545) 0119 内線321